

Kanon

カノン

発行：2025.1.10

2025年 新年挨拶



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、パリでオリンピックが歴史的建造物を活かした会場設定で開催され、数多くの名勝負が繰り広げられました。ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平はフィフティーフィフティーを達成しMVPを獲得、地元横浜DeNAベイスターズは26年ぶりに日本一となり、元気をもらいました。合唱界においては、ハンガリー・カンテムス少女合唱団が8年ぶりに来日し、美しいハーモニーを披露し、ベルリンRIAS室内合唱団が6年ぶりに来日し(単独公演は県立音楽堂のみで開催)、世界最高峰の合唱を響かせてくれました。しかし、いったん目を転じてみれば、喜ばしいはずの元旦に発生した能登半島地震、ウクライナの民間人の犠牲、天井の無い監獄とされているガザで起きている悲劇、各地で起きている紛争、世界中で起きている異常気象による天災、どれを見ても耐えがたく、辛いものばかりです。一日も早い復興と、争いのない平和な日常の回復を、祈り願うばかりです。

これまで神奈川県合唱連盟は、少しずつコロナ禍からの復活に取り組んでまいりました。神奈川県合唱祭において、連盟歌「朝の光に」(神奈川県合唱連盟 創立50周年記念委嘱作品)の合同合唱が復活したことは、嬉しいことです。しかし、あまりに久しぶりだったため、大きな声で歌い交

わせなかったことが心残りです。コンクールにおいては、6年前の参加団体数の2/3にまでにしか、回復していないことは大きな課題です。また、各団体の人数が少なくなっていることも、これからの合唱活動における心配の種となっております。そのような中、音楽堂メサイアにおいて、114人の大合唱で演奏されたことは、本当に感動的でありました。そして、部活動の地域移行を意識して、神奈川独自に始めた合唱仲間を増やすキャンペーン「合唱やろうぜ in KANAGAWA!!」は、朝日新聞にも取り上げられ、多くの参加者で練習が進められています。その発表の場ともなる2月の「合唱フェスティバル」は、今から楽しみであります。そして3月には、全国から選抜された若者が集い、外国人指揮者のもと、練習をして本番をおこなう「第14回JCAユースクワイア」の事業があります。3月30日の県立音楽堂での演奏会には、多くのお客様にご来場頂けますことをお待ちしております。

2025年が、歌声溢れる晴れやかな年になりますよう祈念しております。

神奈川県合唱連盟理事長 岩本 達明

第79回関東合唱コンクール

第79回関東合唱コンクールは、神奈川県合唱連盟の主管により、9月21日(土)に高等学校部門、22日に中学校部門が、神奈川県民ホールにて開催されました。県連スタッフの活気と機敏な働きぶりが高く評価されていました。皆さまのご協力により無事に開催できましたことを心より感謝いたします。また、大学職場一般部門は10月6日(日)に茨城県の水戸市民会館グロービスホールにて開催されました。本県からの出場団体の審査結果は以下の通りです。

中学校部門

混声合唱の部

金賞 横浜国立大学教育学部附属
鎌倉中学校合唱団(代表)

同声合唱の部

金賞 横浜市立大綱中学校合唱部(代表)
金賞 清泉女学院中学校音楽部(代表)

高等学校部門

Aグループ

金賞 清泉女学院高等学校音楽部(代表)
金賞 桐光学園高等学校合唱部(代表)
金賞 日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ
銅賞 神奈川学園中学・高等学校女声合唱団

Bグループ

銀賞 神奈川県立湘南高等学校合唱部

大学職場一般部門

大学ユースの部

銀賞 湘南ユースクワイア

室内合唱の部

銀賞 Corofeliztres

同声合唱の部

銀賞 湘南はまゆう
銀賞 緑フラウエンコール
全国シード La Pura Fuente



終演後も熱気が冷めない県民ホールロビーにて

第77回全日本合唱コンクール全国大会

第77回全日本合唱コンクール全国大会は、10/25(土)に高等学校部門、10/26(日)に中学校部門が埼玉県ソニックシティにて、11/17(日)に小学生部門が福島県けんしん郡山センターにて、11/23(土)24(日)に大学職場一般部門が愛媛県県民文化会館にて開催されました。今年度は神奈川県からの出場団体が増え、活躍されました。本県からの出場団体の審査結果は以下の通りです。

高等学校部門Aグループ

金賞 清泉女学院高等学校音楽部
(文部科学大臣賞)
銅賞 桐光学園高等学校合唱部

中学校部門混声合唱の部

銀賞 横浜国立教育学部附属鎌倉中学校合唱団

中学校部門同声合唱の部

金賞 清泉女学院中学校音楽部(文部科学大臣賞)
金賞 横浜市立大綱中学校合唱部

小学生部門

金賞 川崎市立坂戸小学校合唱団

大学職場一般部門同声合唱の部

金賞 La Pura Fuente

第77回全日本合唱コンクール全国大会参加団体



この度の大会で金賞を頂くことができ、関係された全ての皆様から感謝申し上げます。これまで指導に悩むことも多々ありましたが、当日本番は子どもたちの歌声と指揮とピアノの一体感を感じる楽しいステージでした。アベマリアは「天使が舞い降りて来たような...」と感想を頂き今なお余韻に浸っております。このような素晴らしい舞台に連れて来てくれた子どもたちにありがとうを伝えたいです。いつも支えて下さった校長先生はじめ先生方、いつ何時でも駆けつけて下さった保護者の皆様、ご指導頂いた先生方、地域の皆様、様々な形でご支援頂いた神奈川県合唱連盟の皆様、本当にありがとうございました。
川崎市立坂戸小学校 森 円佳

第77回全日本合唱コンクール全国大会 参加団体



本校にとっては12年ぶりの全国大会。3年生だけの有志合唱団から2・3年生有志が変わって初めての全国でした。久々の出場で不安も多々ありましたが、関東代表の推薦を頂いた時の喜びを胸に、保護者や卒業生の熱い応援にも支えられ、自分たちの合唱を進化させる熱意を最後まで持ち続けることができました。そして当日、合唱を通して見ることができた最高の時間を思い切り皆で楽しみました。この経験を次代につなげ、又、挑みます!

横浜国立教育学部附属鎌倉中学校合唱団 茂野学



撮影スタッフテス

今年は2群のアカベラ曲、Čopíの“Cantate Domino”と影絵を選曲。皆さまの温かい応援と励ましの元、合唱への愛を存分に感じた県大会で推薦をいただき、関東大会では名演を繰り広げた県代表の3校と共に心躍る喜びの時を過ごすことができました。仲間達の演奏に感化され、ハーモニーの重なりと、鮮やかな表現を意識して練習を重ねて臨んだ全国大会の舞台は、コンクール2回目となる19名と初舞台生21名の奏でる和音がホールで広がっていく瞬間や、旋律が色を発しながら流れる様子が垣間見られ、本当に幸せな時間となりました。有難うございました。 清泉女学院中学校音楽部 佐々尾優佳



今年度は、昨年に続き、2度目の全国大会出場となり、結果はなんと初めての金賞!部員77名が一人の欠席もなく、全員で夢舞台上ることができ、一生の思い出になる幸せな時間になりました。県民ホールで行われた関東大会の際には、運営にご尽力いただいた神奈川の皆様の温かさに後押しされ、伸び伸びと自分たちの合唱をすることができました。本当に感謝しています。今後とも『合唱懸命』に頑張ります。応援よろしくお願いたします。

横浜市立大綱中学校合唱部 西川翔



撮影スタッフテス

平和を祈る!! 今年度の自由曲は昨年に引き続き、信長貴富氏委曲曲“Suavidades”。ウクライナや広島原爆の惨状を想起させる音像から始まり、平和への希望を象徴する教会の鐘が響き渡るようなエンディング、3オクターブ近い音域に29人で時に12声部、スペイン語と日本語が交錯する難曲でしたが、信長先生の平和を願う強い想いを表現しようと、皆で最大限の努力をいたしました。コンクール会場が平和を祈る場に化した!!と最高の褒め言葉をいただいた上に2年連続の文部科学大臣賞を受賞し、関係者一同大喜びしております。神奈川県の皆様からの熱い応援に心より感謝申し上げます。

清泉女学院高等学校音楽部顧問 佐藤美紀子



桐光学園合唱部が第77回全日本合唱コンクール全国大会に出場し、銅賞を受賞したことを大変嬉しく思います。初出場であり悲願の全国大会に向けて、生徒たちは日々の練習に真摯に取り組み、音楽への情熱と団結力を高めました。特に今年度は、歌声だけでなく、一人ひとりが互いを支え合う姿勢が印象的でした。この成果は生徒たちの努力と保護者の皆様、そして応援してくださったすべての方々のおかげであり、心より感謝申し上げます。今後もより高い目標を目指し、音楽と向き合い続けてまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

桐光学園合唱部顧問 林和希



撮影スタッフテス

愛媛での全国大会にて金賞をいただき大変光栄に思います。冒頭ヴォカリーズと生と死の狭間に立つ立原道造の“ねむれ”に込めた想いの表現に苦戦した課題曲『子守唄』、美しく緻密に重なり合う旋律と歌詞の自然な表現や、異国情緒あふれ目眩く変化するハーモニーとクラスタの精度アップに注力した自由曲。本番ではベストを尽くすことができました。いつも応援してくださる合唱連盟と関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

La Pura Fuente 一同

第30回ヴィサン《人生百歳》

ジョイント・コーラスフェスティバル

日本シリーズで横浜DeNAベイスターズが優勝し、横浜が大盛り上がりしている中、2024年11月14日(木)に第30回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルが、横浜みなとみらいホール大ホールにて開催されました。新型コロナウイルス、インフルエンザ、マイコプラズマ等が流行り始め、辞退する団体が出るのでは?と一抹の不安がありましたが、昨年より2団体多い全33団体、初参加8団体、90歳以上の参加者4名、総勢597名の参加者が集まりました。講師には合唱指揮者の長谷川久恵先生、作曲家の名田綾子先生をお迎えし、講評とエフォル賞(講師賞)、フェスティバル賞(奨励賞)の選考をお願いしました。

昨年『客席に人が少なすぎる』との声が多く寄せられ、今回よりブロック開始時から終演まで出演者全員に着席して頂きました。楽屋の混雑は避けられませんでしたがお互いの演奏を聴きあうことが出来、どの団体にも惜しめない拍手が送られ、大ホールの素晴らしい響きと共に、どの団も素晴らしい演奏をご披露くださり、これまで以上に素敵なフェスティバルとなりました。

今回も参加20回目となる団体には感謝の意を込めてヴィサンルパン賞を、参加5回の団体にはサンク賞を贈呈し、初参加の団体には記念品を、90歳以上の参加者には舞台上で花束を贈らせていただきました。

今回、体調を崩された出演者がいらっしやいましたが、みなとみらいホールのスタッフの方々が献身的、かつ迅速に対応してくださいました。実行委員会としても、出演者が安心してフェスティバルに参加できるよう、これまで以上にしっかり体制を整えて、運営に努めてまいります。

次回は2025年11月12日(水)みなとみらいホール大ホールにて、第31回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルを開催いたします。木曜日ではなく水曜日開催となりますので、お間違いのないように。皆様のご参加をお待ちしております!

実行委員長 杉山 範雄

参加回数	合唱団名	エフォル賞	フェスティバル賞
	グリーンベル女声合唱団	○	
参加5回目 サンク賞	フォレスト・エコー	○	
	コール・コサージュ		○
	おたまじゃくしの会		○
	旭混声合唱団		○
	鎌倉湖畔コーラス		○
	高津市民合唱団		○
	じゃおグリーンクラブ	○	
	コーロ・しるふれい	○	
初	JOYシンガーズ	○	
	座間女声合唱団		○
初	Palpita	○	
	コーロ・セレーナ		○
参加20回目 ルパン賞	男声合唱団ひびき	○	
	Ensemble Calmo	○	
初	女声合唱団 フレンドリー		○
	しほみコール	○	
	こーろ・ぱれっと		○
	アンサンブル・ピノ	○	
	JIRA男声合唱団	○	
	アンサンブルMIMI		○
	『新老人の会』コールバンドナ&コールアミカ	○	
初	ブルーポロニア		○
	福女こら合唱団		○
	ボカ・グランデ	○	
初	女声合唱団藍の会		○
初	コール・シャンテ		○
	フラウエンコア・ヴォンネ	○	
	ザ・リタイアリーズ&名前のない合唱団		○
	クワイア・ジョイ		○
参加5回目 サンク賞	グリーンフラッシュ		○
	アンサンブル のどか	○	
初	La Fuente Serena		○

◆参加者の声

みなとみらい大ホールにて、気持ちよく歌わせていただきました。90歳を過ぎてもお元気で、演奏後に花束を買っているお姿に、大変感動しました。私達もいつまでも、かくありたいと、話題になりました。合唱のもつ力と仲間のいる幸せに、改めて気づいた1日でした。初出場の記念品は個別包装の大量のあられ。軽く、日持ちが良く、何人でも分けやすく、神奈川県合唱連盟のセンスは最高です。有難うございました。

ブルーポロニア広報 吉本晴美

◆お客様の声

私は70代なのですが、こうやって沢山の先輩の方たちが楽しく歌って、アカペラでも参加されていることに、とても力をもらいました。人生百歳まで歌える気がしてきました。





メサイア、3年目の感動



神奈川県合唱連盟理事長 岩本 達明

「第57回クリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会」が、2024年12月15日(日)に県立音楽堂で開催されました。指揮者が大塚直哉先生になって3度目の演奏会でした。昨年度は、音楽堂のガイドラインにより舞台上の合唱人数が65人ということで、39人の大人が全曲を歌い、未来プロジェクトの高校生は、1部・2部・3部と歌い手を変えて、各部26人で歌いました。全曲演奏後に客席の両サイドも使い、全員でアンコールのハレルヤを演奏できた感動は、今でも蘇ってきます。そして、今回は、久しぶりに未来プロジェクトの卒業生増やしたことに加え、高校生の新入生が沢山入ったこともあり、大人46人、未来プロジェクト(湘南高・多摩高・法政二高)70人の、総勢116人の大合唱での歌唱となりました。大人数の迫力とともに、繊細で細やかなところまで気配りの行き届いた、スピード感ある素敵な演奏ができました。

練習ピアノは、山部陽子先生と織田祥代先生、そして榮萌果先生と田中久美先生と武藤聡里先生との5人で担当してもらいました。体操・発声指導は、理事の土屋結乃先生と福王寺佑子先生、あらたに今井祐之先生に加わってもらいました。また、未来プロジェクトの特別講座では、ソプラノリストの澤江衣里先生にも大変お世話になりました。

使用楽譜ですが、ようやくペーレンライター版に慣れてきたと思います。そして、オーケストラの楽譜も、ペーレンライター版に更新され、楽器からも新鮮な音楽が溢れだしたことは、とても印象的でした。そして、今年もアンコールに、感動的なハレルヤが演奏されました。

来年も、指揮者の大塚先生とともに、素敵なメサイアを創り出してゆきたいと思いますので、多くの大人の方々のご参加を、お待ちしております。



写真：ヒキキトモ

指揮——大塚 直哉
ソプラノ——澤江 衣里
アルト——中嶋 俊晴
(カウンターテナー)
テノール——谷口 洋介
バス(バリトン) 池内 響
管弦楽——神奈川フィルハーモニー管弦楽団
チェンバロ——山縣 万里
オルガン——田宮 亮

合唱——神奈川県合唱連盟
音楽堂「メサイア」未来プロジェクト合唱団
(県立湘南高等学校
県立多摩高等学校
法政大学第二高等学校)
合唱指揮——岩本 達明 杉山 範雄



松下耕先生と共に… 「雪」400名の大合唱!!



ユース・コーラルフェスト実行委員長 佐藤 美紀子

昨年、12月21日、清泉女学院講堂にて、“ユース・コーラルフェスト2024”を開催いたしました。世界で活躍されている松下耕先生をお招きし、出演者、聴講者合わせて約700人の受講者に、楽曲の原風景と松下作品の特色と魅力について解説していただきました。インフルエンザのため、当日参加できない団体もあり残念でしたが、厳しい状況の中、ご出演いただきました14校、そして聴講2校の生徒の皆様、ご指導いただいた指揮者、顧問の先生方に感謝申し上げます。

松下作品演奏後の先生のコメントを、一部ご紹介します。ラテン語の宗教曲を歌った団体には「教会で歌う楽曲は旋律よりも縦の和声が優先されることがある。一つ一つの和音を止めて確認していくこと、その和声の中での自分の役割を聞き合うことが大切」。心の琴線にふれる楽曲を歌った団体には「日本語は母音と促音の使い方で美しく歌える。“羽ばたき”の同じ3つのaでも母音の明るさを自然に変えると美しい。促音は場所によって長さや勢いを変えることで表現の仕方によって表現力が増すね」。音程に不安のある団体には「なるべくドレミで歌っては、できれば移動ドで歌うことによって転調がスムーズにできます」。エンターテインメント性の高い作品を歌った団体には「いいね！振りも変顔、変声、工夫されていて楽しい。難解な音程が正しく動

いているからこそ楽しくなる」すべてのお言葉が参加者の心の奥底にしみ通り、今後の練習の糧となることと思います。

各校の演奏後は客席前方に400人の生徒が集まり松下先生作曲の「雪」の合唱、抒情的な美しい曲をうっとりとお歌おうとする生徒たちに、「まずは楽譜通り正確に、リズムやテンポを変えずに歌おう！その後で抑揚をつけるのが完成への近道」と…基本に戻る歌唱レッスンの大切さを皆で実感しました。最後に今年度のNHK全国学校音楽コンクールの課題曲「明日のノート」を松下先生の指揮のもと全員で大熱唱、若いエネルギーが炸裂した感動的な時でした。松下先生のステージ狭しと動かれる熱意溢れるご指導、校庭のクリスマスツリーの温かな輝きが、参加者の皆様の心に残る1日であればと願っています。

神奈川県の中高生の交流、各校の練習方法交換の場としてユース・コーラルフェストが始動したのが17年前、作曲家の先生方を講師とした学び場になってからは10年、そして来年度からは3月に開催されてきた「ジュニア合唱祭」とのコラボとなり、ジュニアからユースの交流の場へと進化します。“ユース&ジュニア・コーラルフェスト2025”、来年も人気の講師の先生をお招きして12月21日、清泉女学院で一日開催いたします。ご参加をお待ちしています！！



講習に臨む生徒の皆さん



松下耕先生

合唱を
愛する人

探訪

第4回 門間 誠蔵さん

県合唱連盟監事の門間さんは、県連のイベントで毎回タイムキーパーを務め、「イエローカードのおじさん」として親しまれています。12月に県立音楽堂で開催される恒例の「音楽堂メサイア」には、半世紀以上出演し続けているレジェンド。紅葉坂をすたすたと登っていく健脚ぶりも有名。そのエネルギーの源を伺ってみました。

*合唱を始めたきっかけは？

秋田から出てきて当時の国鉄に入社、職場にクリスチャンでコーラスをやっている方がいて、誘われてメサイアを歌ったのが最初です。ずっとスポーツばかりやっていたのですが、ハードで骨折など怪我も多く、年を取ったら体も利かなくなるので、コーラスもやってみようかと。その後「横浜木曜会」に誘われて入団しました。コンクールにも出て、全国大会も2回行きました。音楽堂のメサイアは、入社して2年目の31才の時からです。この8月で90歳になるので、57回目になります。もともと音楽は好きで、学校の成績は良かったですよ。楽器を習ったことはないのですが、家には足踏みオルガンがあってイタズラしていました。(兄が務めていた久我山の木材屋さんが、空襲で焼けてしまうからと秋田まで送ってくれたオルガン)兄はギター、母は秋田民謡をやっていましたね。現在、横浜木曜会、湘南フィルハーモニー合唱団、地元鎌倉の男声合唱エルダーいずみ、茅ヶ崎のコールシャンテで歌っています。

*これまで合唱を続けてきた理由はなにかありますか？

いろいろな出会いがあってね、ハイキングなども楽しみでした。家内は木曜会の合唱仲間で、仲人も木曜会に誘ってくれた方です。

*県連とのかかわりはいつから？

25年位前でしょうか、木曜会の役員からそろそろ県連を手伝えと言われて。高橋賢治さんが事務局長で横浜の西口のアパートに事務所があった頃です。それ以来コーラスから離れられなくなっていました。(1997～2001に理事、2020から現在まで監事)

*ラグビーやノルディックスキーの腕前がすごいと伺っています。スポーツで体を鍛えられたのですね。



■門間 誠蔵■ 1934年生まれ。秋田県出身。大船の国鉄(当時)に入社後合唱と出会い、現在横浜木曜会など4つの合唱団に所属。県立音楽堂のメサイアには今年で57年連続出場している。1997年から2001年まで神奈川県合唱連盟理事、2020年からは監事を務め、県連のイベントではタイムキーパーとして活躍中。

ラグビーは秋田の高校時代、全国大会に1回出ています。法政の夜学でラグビーを続けて、国鉄大船にも本格的なラグビー部を作りました。皮のボールに白いペンキを塗って、夜も練習していました。社会人になってからも国体に出ています。冬はラグビーの代わりにスキーですね。会社にいた養成所の指導員に習って準指導員の資格を取りました。神奈川県代表で7回国体に出ましたよ。朝礼でやる「国鉄体操」の指導員もやりました。デンマーク体操を基にしたダイナミックな体操で、本社主催の1週間の合宿で免許を取らないと、みんなの前ではできないのです。

*ほかにも続けていらっしゃることはありますか？

日本舞踊を10年。木曜会のアメリカ遠征のために習って、女性は「さくらさくら」、男性は「黒田節」を協会で披露しました。オカリナは20年続けています。囲碁は2段です。ほぼ毎日練習に出かけていますね。

*合唱を続けている方へのメッセージをお願いします。

やっぱり体が大事。それと呼吸ですね。少しでもいいから体操をして足を鍛える。継続は力で、積み重ねが大事です。タイムキーパーの仕事も、ピアニストのペダルとか指揮者の手とかいろいろなところを見るのですが、出だしがどこかという指揮者の癖もわかるようになってきました。

*見えないお仕事にも細かく心配りをされていて素晴らしいですね。ありがとうございました。

コンサートガイド

2025年

1月

26日(日) 14:00～ 川崎混声合唱団 第57回定期演奏会 川崎市多摩市民館 大ホール

2月

1日(土) 14:30～ 鶴沼エコー 第12回演奏会 藤沢公民館・労働会館等複合施設Fプレイスホール

3月

15日(土) 18:00～ 湘南フィルハーモニー合唱団 第31回定期演奏会 ミューザ川崎シンフォニーホール

16日(日) 13:30～ 相模原市少年少女合唱団 第58回定期演奏会 杜のホールはしもと

16日(日) 19:00～ 湘南ユースクワイア 第2回単独演奏会 パルテノン多摩 小ホール

24日(日) 18:30～ 県立湘南高校 春の定期演奏会 鎌倉芸術館 小ホール

29日(土) 16:00～ グロリア少年合唱団 第61回定期演奏会 鎌倉市生涯学習センター ホール

4月

12日(土) 13:30～ 横浜並木男声合唱団 第13回定期演奏会 横浜みなとみらいホール 大ホール

24日(木) 14:00～ グリーンベル女声合唱団演奏会～創立48周年～ 横浜みなとみらいホール 小ホール

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定(2025年1月～2025年12月)

- 第27回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト 2025年 1月18日(土)・19日(日) 神奈川県立音楽堂
- 第47回神奈川県合唱フェスティバル&第43回神奈川県ジュニア合唱祭 2月11日(火・祝) 神奈川県立音楽堂
- 第48回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会～女声合唱の祭典～ 4月19日(土) 神奈川県立音楽堂
- 第68回神奈川県合唱祭(4日間) 6月14日(土)・15日(日) 神奈川県立音楽堂
6月28日(土)・29日(日)
- 第68回神奈川県合唱コンクール
(第80回関東合唱コンクール神奈川県大会) 8月16日(土)・17日(日) 神奈川県立音楽堂
- 第31回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル 11月12日(水) 横浜みなとみらいホール大ホール
- 第58回メサイア演奏会(主催:神奈川県立音楽堂) 12月 7日(日) 神奈川県立音楽堂
- かながわジュニア&ユース・コーラルフェスト2025(第44回神奈川県ジュニア合唱祭) 12月21日(日) 清泉女学院講堂

編集
後記

猛暑の後もなかなか涼しい秋は訪れず、12月になっても汗ばむような陽気。季節の移ろいを感じる事が少なくなってきました。体調を保つのも大変ですが、歌うことは、心の澱を流し、活力を補充するのにとても役立つ気がします。今年も元気に歌いましょう! 編集長 青山 道代

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon カノン」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会
発行責任者 岩本 達明 編集責任者 青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021 横浜市中区日本大通15 横浜朝日会館4階

TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119

スタッフ常駐: 平日: 月火木金(休祝日を除く) 12:00~16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mailアドレス kanagawakenren@nifty.com

